

宮津市 GIGA スクール構想

～宮津の新しい教育の創造～

No.13

これからの学校は「教えてもらう」⇒「自ら学ぶ」ところへ



1月22日（土）に、みやづ歴史の館で宮津市教育フォーラムを開催しました。「小中一貫教育」や「コミュニティ・スクール」をはじめとした宮津市の教育について、市民、保護者のみなさんとともに考える場として開催する本フォーラムも、今年度で6回目を迎えました。

実践報告では、宮津市立吉津小学校が「児童が夢中になって学ぶ Creative な授業づくり～学びに向かう力を育て ICT 利活用～」と題し、ICT をうまく取り入れながら、子

どもたち自らを学び手とし、友達と協力し問題を解決していく力をはぐくむ実践を紹介しました。

これからの時代に求められる学校は、先生から教えてもらうのではなく子どもたちが自ら学んでいけるような教育の場です。激しく変化する現代社会の中で、一人一人が自分のよさや可能性を知るとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていける力が付くよう、引き続き宮津の新しい教育を推進していきます。

「教育フォーラム」に参加された市民の感想【一部を掲載】

- ・ 学び手を育てるプログラムが素晴らしい。子どもたちがやりたいことを思いっきりできる環境づくりには先生のスキルだけでなく人間力が必要。ICTで人との関わりが希薄になるのではと心配だったが、それを活用して人ともっと繋がる方法を工夫している様子を見て今の環境で育っていく子どもたちがとても楽しみになった。
- ・ タブレットは学びに向かう力を育成する今日的なツールの一つ。さらに効果的に活用し、目を輝かせて、人・モノ・コトに関われる子ども達の育成を楽しみにしている。
- ・ これからの子どもたちに ICT は不可欠なものとなるが、それと同様に心の教育は大事にしなければならないと思う。
- ・ 今までとは全く違うツールを使って学ぶ子どもたちがこれによってどのような子、人間として育っていくのか期待もあり、不安もある。実態としてメリット、デメリットを深く検証して欲しい。
- ・ 地域には素晴らしい大人がたくさんいるのもっと活用して、学校まかせではなく地域の宝という子育てができるようみんなが繋がればと思う。

